

Mランドニュース Vol.212

丹波ささ山校 令和6年12月1日発行

発行 (株)篠山自動車教習所 〒669-2436 兵庫県丹波篠山市池上569

TEL. 079-552-0815 FAX. 079-552-3940 発行責任者 前川 昂希

<https://www.sasayama-ds.com/>

E-mail info@sasayama-ds.com

今月の言葉

世の中には幸福も

不幸もない。

ただ、考え方で

どうにでもなるのだ。

シェイクスピア

Mランドフェスタ

フェスタ事務局長

谷口 健

十一月十日、好天氣の秋
晴れの中、第十六回Mランド
フェスタを開催でき、多くの
皆さまにご参加いただけま
したことに感謝申し上げます。

午前の部の「みんなでゴミ
を拾いましょう」には、百名
を超えるご参加、午後のイベ
ントは四百名を超える方々
にご来場いただきました。



最高の天気の中、ゴミ拾いに出発～！！

地域の皆さま、ご出演・ご
出店・ご協賛いただいた皆さ
ま、準備から片付けまで一
丸となりともにフェスタを創
り上げた仲間、それぞれが
今年のテーマである「つながる」
を深く感じられたMランド
フェスタとなりました。

「事務局長」という大役に
大きなプレッシャーを感じて
いましたが、お越しいただい
た皆さまの楽しんでいただい
た皆さまの楽しんでいた

やるお姿や、家族や友達と
幸せそうに時間を過ごされ
ている様子が会場内のいたる
ところでお見受けすることが
でき、ここまでやってきてよ
かった!!と心底感じました。

事務局長としては改善点
も多々ありましたが、多く
の人に支えられていることを
改めて実感できたことが人
生の大きな糧となりました。
小河吉彦会長の挨拶の中
で「ご縁をいただいたという
方々とのつながりを深めるこ
とが大切である」というお話
をいただきました。これから
も、みなさまとの「つながり」
を大切にしていきたいと思います。

みんなでゴミを拾いましょう

そうじ責任者

構井 謙二
長谷川 泰之

今年の「みんなでゴミを拾い
ましょう」は、百名を超える
参加者の皆さまとともに、
地域のゴミ拾いをおこないま
した。十時の開会に合わせ
て、参加者の皆さまが続々

と来られると、フェスタが開
幕したなど毎年気が引き締
まります。

今回、特に印象深かったこ
とは、子供たちの参加が非
常に多かったという点です。
子供たちの中には、ご両親に
見守られながら、頭まで入
るような深い溝の中に落ち
ているゴミを拾ったり、茂みの
奥まで足を踏み入れ、ゴミ
を拾ってくれる方もたくさ
んおられ、非常に嬉しく感
じました。



深い溝の中までゴミを拾いに行く子供たち

「ゴミを拾う」。誰にでも
簡単にできることではあり
ますが、これからの未来を
担っていく子供たちが「自ら
の手でゴミを拾う」ことは、
子供たちの未来に大きな価
値を生み出すと確信してい
ます。
参加された皆さまが終始
笑顔で、とても暖かい雰囲気

気の中、ゴミ拾いをしていた
だいたことにも喜びを感じま
した。

本当に多くの方々を支え
ていただき、個人の力だけで
は難しいことも、皆とつな
がり、助け合うことで不可能
を可能にしていくことができ
るということを実感できたフ
ェスタとなりました。

つながる

イベント責任者

後藤 茂
大澤 竜貴

フェスタ直前まで、天気に
悩まされましたが、晴れ晴
れとした中での開催となり、
今日は「良い日になる」と思い
ました。

Mランドフェスタは今年で
十六回目を迎えますが、過
去最高の来場者で、特に地
域の皆さまが数多くご来場
いただいたように感じまし
た。Mランドは地域住民の皆
さまの支えがあつてこそ成り
立っていますので、たくさん
の方々足に足を運んでいただ
けるようになったことにすご
く幸せを感じました。
ステージパフォーマンスやビ
ンゴ大会も大盛り上がりで、

飲食ブースに出店していただ
いた店舗もほとんどが完売
状態で大盛況となり、大成
功のイベントとなりました。



ビンゴ大会も大盛り上がりでした！！

人とのつながり、地域とのつ
ながり、全てのつながりが大
成功につながったと感じてい
ます。この経験を今に留める
ことなく、来年も笑顔いっ
ぱいのMランドフェスタを開催で
きるように、未来へとつなげ
ていきます。



ご来場ありがとうございました！！

ペットボトルのキャップで 助けられる命があります

丹波篠山市から令和五年三月に「ワクワク環境みらい都市宣言」パートナー事業所登録制度の説明を受け、お役に立てることはないかと考えました。

そこで、たくさんの方が集う場所でもあるMランドで出来ることの一つに「ペットボトルキャップ支援」がありました。しかも、ペットボトルキャップ約六二〇個でポリオワクチン一人分の寄付ができ、助けられる命があることを知り、活動をはじめました。



たくさんのキャップ、ありがとうございます！！

まずは、職員とその家族、教習を受けられているゲスト、高齢者講習の受講者の皆さま、昨年のMランドフェスタの参加者たくさんさんの輪が広がり、令和五年は五十

五kg、四十三人分のワクチンを送ることが出来ました。

その後も職員をはじめ、この活動を続けていることをご理解いただいた市民の皆さまにもご協力いただき、今年の『第十六回Mランドフェスタ』にもたくさんさんのキャップをお持ちいただきました。Mランドでは今後もこの活動を続けて参ります。温かいご支援、ご協力をよろしくお願い致します。尚、本年度の集計結果は次回Mランドニュースにてご報告いたします。

能登北陸応援!!

チャリティーブース設置

ペットボトルキャップ同様、Mランドが応援できることを考え、以前からゲストに募金をお願いしていたこともあり、フェスタではその延長として能登北陸の名産品のチャリティーブースを設置いたしました。

販売開始よりたくさんさんの皆さまにご購入いただき、今回のMランドフェスタのテーマである『つながる』を感じ、大好評につき完売となりました。義援金募金箱へもたくさんさんの募金をいただき、皆さ

まの温かい思いを感じました。感謝申し上げます。



皆さまの思いをしっかりと届けます

皆さまからお預かりした募金は日本赤十字社兵庫県支部を通じて能登へ寄付させていただきます。

インターンシップ

共習・共育部長

南勝 宏幸

今年も元気な高校生二名がMランドに五日間のインターンシップ(職場体験)に来てくれました。

Mランドの職場体験を通して今回学んでいただいたことは、「できるか、できないか」ではなく「やるか、やらないか」の違いについてです。五日間の体験で「上手にできる」ではなく、たとえ上手にできなかったとしても、

「素直にやってみること」、「挑戦してみる」ことの大切さを学んでいただけるように、様々な体験をしていただきました。



真剣な表情で取り組んでくれています

お二人とも初めての環境に緊張されている様子でしたが、お願いした仕事を前向きに元気に取り組まれ、最終日にはインターンシップの期間が「短く感じた」という感想も聞くことができました。

Mランドでの経験やお伝えしたことが、彼らの将来に良い影響を与えられていれば幸いです。

シルバーライバースクール

管理者 永見 倫幸

近年、交通事故死者数が減少傾向にある中、依然として高齢者が関係する死亡

事故が減少しにくい現状にあります。

このような交通情勢の中、高齢者の事故防止に少しでも貢献できるようにと、丹波篠山市役所、篠山警察署、シルバー人材センター、Mランドがタイアップし、「シルバーライバースクール」をMランドで開催しました。

スクールの内容は、篠山警察交通課の方から、兵庫県下の交通情勢のお話に始まり、JAFの講師からは車の死角の危険性についての講話があり、受講されている四十名の参加者はうなずきながら真剣に耳を傾けていらっしゃいました。



車の死角体験。真剣に話を聞く参加者の皆さま

その後、二班に分かれ車の死角が分かりやすいようにロードコーンを配置し、実際の死角を体験する班と、Mランドのインストラクターを

助手席に乗せて、教習コース内の運転を体験していただく班に分かれ、安全運転についての意識・技術・知識を深めていただきました。

約三時間のスクールでしたが、終始、参加者の皆さまの安全運転に対する意識の高さに驚かされていました。参加者の皆さまと一緒に、丹波篠山市から全国へと、安全な交通社会を築いていくと共に、安全運転意識の高い運転者の育成に努めたいと改めて感じさせていただきました。

編集後記

今年もご覧いただきありがとうございました。来年もMランド丹波さき山校をよろしく願っています。良いお年をお迎え下さい。

前川 昂希

【掃除に学ぶ会】のご案内

私たちと一緒にトイレ掃除をしませんか？

- 場所 Mランド
- AM8:00~AM9:00

※トイレ掃除のできる服装でお気軽にご参加ください。